

### 3. 財務比率表

#### (1)貸借対照表関係比率 〔学園全体〕

比 率	全国平均	評価	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	備考
固定資産構成比率	86.8	▼	65.0	60.2	57.0	62.1	64.2	62.8	
流動資産構成比率	13.2	△	35.0	39.8	43.0	37.9	35.8	37.2	
固定負債構成比率	7.5	▼	1.1	2.5	2.3	2.1	1.7	1.6	
流動負債構成比率	5.7	▼	4.5	2.4	2.7	2.7	2.7	2.7	
自己資金構成比率	86.8	△	94.4	95.1	95.1	95.2	95.5	95.7	
消費収支差額構成比率	-8.1	△	27.7	26.9	26.1	25.2	23.8	22.6	
固定比率	100.0	▼	68.9	63.3	59.9	65.2	67.2	65.6	
固定長期適合率	92.0	▼	68.1	61.7	58.5	63.8	66.0	64.5	
流動比率	232.7	△	772.5	1650.1	1620.1	1421.2	1313.5	1400.8	
総負債比率	13.2	▼	5.6	4.9	4.9	4.8	4.5	4.3	
負債比率	15.2	▼	6.0	5.2	5.2	5.0	4.7	4.4	
前受金保有率	298.1	△	2607.8	2367.0	2244.4	1802.6	1901.4	2225.9	
基本金比率	96.9	△	94.9	98.3	98.7	99.0	99.2	99.5	
減価償却比率	43.9	～	37.8	38.9	44.1	47.1	49.1	52.8	

全国平均＝H21年度(医歯系法人を除く)の平均である。(今日の私学財政より)

△＝高い方がよい

▼＝低い方がよい

～＝どちらともいえない

上述のように、貸借対照表の比率が全国平均を上回っているのは、過去の十分な内部留保が反映された結果によるものである。次頁の消費収支関係の比率でみると、全国平均を下回る結果になっているのは、留意する必要がある。